



市議会だより

# きたあきた

こにゅうえんおめでとう



No. 44

平成27年5月1日発行

## 3月定例会

- 本定例会の審議 ..... 2～3  
賛成・反対討論
- 常任委員会の審査報告 ..... 4～5
- 一般質問 ..... 6～10
- 第1回臨時会 ..... 10
- 議案等の表決状況／議員連盟 ..... 11
- 議会報告会 ..... 12
- 市民の声 ..... 13
- 請願陳情・人事案件等 ..... 14

民間への運営移管スタート！  
元気いっぱい地域の子育て拠点に

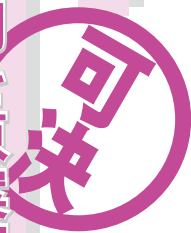
～ 鷹巣中央保育園 入園式 ～



82議案が原案のとおり可決された3月定例会

## 平成27年度一般会計予算

222億2328万9千円を原案可決



前年度比  
15億41万1千円減  
(6.3%減)

平成27年北秋田市議会3月定例会は、3月3日(火)から3月19日(木)までの17日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案16件、予算案38件、請願3件、陳情8件など85件の議案が提案され、請願1件と陳情4件を除く80議案が原案のとおり、それぞれ可決、採択されました。

また、人事案件として、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の選任の2件が追加提案され、それぞれ同意されました。

### 今定例会の主な議案

- 保育料条例の制定
- 介護保険条例の一部改正
- 学校給食センター条例一部改正
- 水道事業の設置等に関する条例の一部改正
- 平成27年度一般会計予算
- 平成27年度各特別会計予算
- 平成26年度一般会計補正予算
- 新市建設計画(新市まちづくり計画)の変更について

### 新年度予算には

#### 大型継続事業計上

平成27年度一般会計予算案は、歳入と歳出それぞれ222億2328万9千円とするものです。

歳出の主なものは、昨年度からの継続事業である(仮称)生涯学習交流施設建設事業12億9732万3千円、宮前町団地建設事業2億5928万3千円、まるごと森吉山観光振興プロジェクト事

業2億1450万4千円、伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業1億9542万3千円、歩行空間整備事業2億307万4千円に加えて、クリーンリサイクル建設事業1億4678万5千円が新たに予算措置されました。

また、定住促進基本方針に基づき、奨学金等返還支援助成事業92万2千円、移住者住宅支援事業260万円を移住・定住促進に向け計上するとともに、福祉医療給付費については、今年度からは中学生も新たに完全無料化とするものです。

### 地方創生関連予算は 一般会計補正予算に

平成26年度一般会計補正予算に地方創生先行型の交付金事業が計上されました。主な内容は地方創生を具体的に進めるための「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などの関連事業及び、

消費喚起・拡大のためのスーパープレミアム商品券や宿泊利用券などの事業で、合計1億7578万円であります。

なお、これらの交付金事業は全額27年度へ繰り越されることになります。

### 議会最終日は 活発な議論展開

議会最終日の本会議においては、16の議案や陳情で賛否が分かれ、起立採決が行われました。特に、平成27年度一般会計予算では、6名の議員による活発な議論が行われ、起立採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。

また、この日追加提案された「北秋田市教育委員会委員の任命について」、「人権擁護委員候補者の選任について」の人事案は、それぞれ同意されました。  
討論の内容は、次ページのとおりです。

## 賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

労働者の処遇改善をめざす陳情について

**反対討論** 吉田仁吉郎議員

速やかに対策をするべき内容であり、継続審査には反対する。

▼議案第18号平成27年度  
北秋田市一般会計予算

**反対討論** 板垣 淳議員

市長は借金増やさないという選挙公約を破った。議会が黙認してはならない。

**賛成討論** 大森光信議員

きめ細かい施策に予算措置されている。地方創生元年をしっかりと予算執行するべきである。

**反対討論** 福岡由巳議員

建設中の交流施設の予算が23億に増えており、膨大な負担増である。

**賛成討論** 佐藤文信議員

公約違反の討論があったが、状況判断が必要。課題解決の予算を執行するべき。

**賛成討論** 堀部 壽議員

中心市街地の活性化のために必要な予算である。

**賛成討論** 佐藤光子議員

建設中の交流施設の市負担は約8億。事業目的を考えると決して過剰ではない。

**賛成討論** 板垣 淳議員

市内のすべての特養が大減収となり「困る」と言っている。議会はその気持ちに寄り添うべき。

**賛成討論** 福岡由巳議員

施設も利用者もこのままでは厳しい状況に追い込まれる。消費増税したのに反映されないのはおかしい。

▼継審陳情第11号年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情について

**賛成討論** 福岡由巳議員

国民年金の受給者が多い状況では、これ以上の削減は取りやめていただきたい。

**賛成討論** 板垣 淳議員

われわれ議会はこれまで同趣旨の陳情をすべて採択してきた。その態度を変え理由はまったくくない。

▼請願第5号米価対策の意見書を求める請願について

▼陳情第20号沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める陳情書について

**賛成討論** 三浦倫美議員

昨年の知事選、衆院選で沖縄の民意は明らか。政府の新基地建設強行は地方自治権を否定するものだ。

**賛成討論** 福岡由巳議員

沖縄県内への基地移設では、沖縄県民の負担軽減にはならない。政府は沖縄の民意を聞くとうとしていない。

▼議案第39号平成27年度  
北秋田市病院事業会計予算

**反対討論** 久留嶋範子議員

財政負担が増えていて、医師確保予算がない。

**反対討論** 福岡由巳議員

市の負担金が増えており、赤字補てんも続いている。

▼陳情第18号介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護

**反対討論** 福岡由巳議員

▼議案第17号地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

提案理由の質問に、当局は答弁不能で瑕疵が生じ議決すべきではない。かつ、教育への介入、統制に反対。

▼陳情第15号「集団的自衛権行使を容認した閣議決定に反対し、撤回を求める意見書」の採択等を求める陳情書について

**賛成討論** 久留嶋範子議員

世論調査では「戦争する国づくり」に過半数が反対している。子や孫を戦争に送らせてはならない。

**賛成討論** 福岡由巳議員

文官統制の撤廃は極めて危険であり、戦争に加担するものだ。政府は、戦後70年を機に平和国家を作るべき。

総務文教

災害ハザードマップは  
わかりやすく作成

当委員会に付託された案件は、条例案7件、予算案18件、単行議案3件、陳情3件でした。

がありました。

リフレッシュ学園  
独自でも運営予定

平成27年度北秋田市一般会計予算所管分については、総務課関係で、土砂災害のハザードマップの配布予定はとの質疑がありました。当局からは、内容としては、災害想定区域を示し、避難所を明記、準備するもの、想定される災害などについて、分かりやすく、見やすく、使いやすさを目指して作成したいとの答弁

教育委員会関係の学童研修センター運営費、リフレッシュ学園に対する県補助金が平成27年度で終了するが、補助終了後はどのような考えているのかとの質疑があり、当局からは、県の手を離れても、現状として不登校児童・生徒はいるので、市独自で運営していきたい。他の自治体が対策を講じられない中で、全国に

先駆けて子どもたちに対応していることは本当に誇るべき教育施策だと思うし、人間が本来持っているエネルギーの元に、遅くしようという狙いでやっている。県では、市で続けていく意向があれば、人的な面ではお手伝いをする考えがあるとのお話しも伺っているとの答弁がありました。

平成27年度当初予算に対し反対の立場から、仮称・生涯学習交流施設など、大型事業を中心とした予算配分になっており、平成27年度からは交付税が減り、少子高齢化がますます進み市税の落ち込みも見込まれる中、暮らし、医療、福祉応援にお金を使うべきとの討

論がありました。

賛成の立場からは、仮称・生涯学習交流施設の事業は、既に決まった事業であり、経費を削減するだけが市を発展させるためではない。かけるべきところにはしっかりとかけ、事業を進めていくべき。重点施策として、北秋田市定住促進基本方針に基づいた各種事業、本市の課題である子育て、若者定住促進などが予算措置され、未来ある北秋田市を目指した予算であり、本案に賛成したいとの討論がありました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきと決しました。当委員会に付託された案件は、地方教育行政の組織

及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例、平成26年度補正予算2件は賛成多数、陳情3件は不採択、そのほかの26件については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤重光)



リフレッシュ学園で不登校等対策を

市民福祉

特養施設増床により  
待機者解消

当委員会に付託された案件は、条例案7件、予算案15件、単行議案4件、陳情2件の計28件でした。

北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定

については、委員から、特養には200人くらいの待機者があり、計画からいくと半分以上解消されると思うが、具体的にどこにどのような形で進めるのか

との質疑がありました。当局からは、介護度3以上の待機者は150人くらい、今回95人分整備すると、3分の2くらいは解消されることになる。どこに、どのようにいうことについては、公募により進めることになるとの答弁がありました。

消防団の再編計画

平成27年度一般会計予算の消防本部の関係では、消防団の再編について、委員から、再編はどのように進められるのか、団員からの意見集約や説明など、具体的なスケジュールはとの質

疑があり、当局からは、平成27年度中に消防団を再編する計画であり、現在29ある分団を半分ほどにして、1分団を50人から70人程度に再編したいと考えている。素案を作成して、消防団の幹部会、分団会議に諮って方向性を出し、平成28年度より実施したいとの答弁がありました。

北秋田市病院事業会計予算では、委員から厚生連との指定管理料について、昨年度より4千万円ほどの増額になっているが、この内容と、考え方についてはどうかとの質疑があり、当局からは、病院の収支状況、入院患者数の状況等を勘案して計上している。開設して5年が経過していること

から、機器の修繕、保守料等も増えている状況。平成27年4月からは、自治医科大から新たに2名の医師が配置になる予定であり、また、新しく地域がん診療病院となることから、そのあたりも期待しているとの答弁がありました。

採択では、反対の立場から、市民病院の負担金から、年々増えている。今年度も医師確保の予算はゼロ。医師確保を含めた、現状を打開するための努力を当局に求めて反対するとの討論がありました。

審査の結果、当委員会に付託された案件は、平成27年度一般会計予算と北秋田市病院事業会計予算を賛成多数で可決。その他の予算案、条例案、単行議案については、全会一致で可決すべきものと決しました。



地域がん診療病院に

## 産業建設

### 歩行空間整備事業 アーケード建替継続実施

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案9件、単行議案4件、請願3件、陳情2件の計20件でした。

平成27年度一般会計予算所管分については、米価下落に係る主食用米コスト低減緊急対策支援事業補助金について、約8億円の減収という推計に対し、農家に限らず地域全体の危機的状況であるが、この事業内容と予算で十分であるのか。また、種子助成には、主食用米以外の増加が見込まれ

る飼料用米や加工用米は含んでいるのかとの質疑があり、当局からは、管内両農協と具体的な内容を協議し、100%市の財源で実施するものであるが、概算金については、今後の取引きの精算により、上昇する場合も考えられる。また、飼料用米については、補正予算の方に計上し、当初予算と合わせて種子助成を行いたいと考えている。加工用米は、主食用米と同様な品種で扱われるため、精算の段階で検討したいとの答弁が

ありました。また、アーケード建て替えについて、不公平感という市民感情が厳しい状況にあり、賑わい創出である目的に対して逆効果であると危惧されるため、今一度、意見交換や丁寧なソフト面への取り組みが必要ではないかとの質疑に対し、当局からは、市の玄関口でもある中心市街地の観点や、老朽化が著しく、歩行者の安全確保が緊急の課題であるとの答弁がありました。

また、地域おこし協力隊の内容についての質疑に対しては、7月からスタートし、2名を予定しており、市の観光、物産、お祭り、芸能等を紹介してもらう。平成26年度一般会計補正予算所管分については、地方創生に係る産直センターに関して、運営内容の在り方などについて質疑があり、当局からは、国の動向が定まらない中での見通しで、今後さらに検討を要するが、平成28年8月頃の開設に向けて、道の駅たかのすの敷地内に建設したいとの答弁

ができました。北秋田市に定住してもらいたいとの答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

#### 産直センター 建設予定



産直センター建設予定地の道の駅

がありました。審査の結果、当委員会に付託された案件は、請願1件は継続審査、その他請願、陳情は採択、条例案、予算案は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 庄司憲三郎)

(委員長 小笠原 寿)

# 一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

▶ 東日本大震災のご冥福を祈り黙祷を捧げました。



\*一般質問 2 日目（3 月 11 日）

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。

一般質問は、3 月 10 日・11 日に行われ、8 名の議員が市長に対して、当初予算、農業施策、地方創生関連、庁舎問題、小中学校整備計画、災害や大雪対策など様々な問題についてたどしました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

## 農業再生のビジョンを



福岡 由巳 議員（無会派）  
〔一問一答方式〕

ら対策を進めていく。  
問 非常に遅れている  
と感じる。この地産地  
消に関わって、野菜、  
果樹、肉等の調達先の  
統計を取り、政策化す

ることが必要と考える。  
学校給食以外の統計は  
取られているか。  
答 多分把握できてい  
ないものと思う。

### 議員：地産地消の政策強化を 市長：総合計画等で対応する

問 本市の基幹産業で  
ある農業が発展するに  
は、地産地消の強化が  
重要であり、具体的に  
政策化すべきでないか。

答 平成 27 年度に予定  
している総合計画の見  
直しや、各部門別の既  
存計画の見直しとあわ  
せて検討し策定する。

問 今回の市長の施政  
方針の重点施策では農  
業問題に触れていない  
しかし、他の議案には

「稲作主体から野菜へ  
の転換が急務」とある。  
地産地消政策に関係す  
るが、いかに推し進め  
ようとしているのか。

答 市と J A との農政  
意見交換会の中で、農  
家が望んでいるものな  
どの情報を共有しなが

問 今回、いくつかの  
施設に調べてもらった  
ので、当局はまだ把握  
していないのではない  
か。そして、統計を参  
考に、地産地消強化の  
検討会議等を行うべき  
でないか。

答 調査が不十分だっ  
たので、いろいろな角  
度から調査したい。

問 米依存からの脱却  
は、この地域では後継  
者や技術指導者が少な  
い、設備投資が大変、  
雪対策等課題が多いこ  
とから、総合計画と長  
期展望をもったビジョ  
ンで具体的計画、財政  
計画を示し、農家の収  
入が増えるよう前向き  
に検討すべきと考える。

答 市と J A との農政  
意見交換会の中で、農  
家が望んでいるものな  
どの情報を共有しなが



米から畑作へはまず資金

給食でもこの地域の需  
要は大きい。そのため  
供給体制を考えて地産  
地消の政策化を訴える  
ぜひ具体化を。  
答 市が目指している  
のは、農業者の所得向  
上、この 1 点。売れる  
農産物、6 次産業化等  
に力を入れない。

# 弱者にやさしい市政に



板垣 淳 議員（共産党議員団）

〔一問一答方式〕

**問** 「地方消費喚起・生活支援型」交付金が配分された。国は、消費喚起型としてプレミアム商品券、生活支援型として低所得者向け灯油購入助成や生活品購入助成を具体例として示している。それなのに当市は低所得者対策をなぜ実施しないのか。

**答** まず、地域経済のために20%増、4000円で50000円分の買物ができるプレミアム商品券を実施する。そのなかで、子育て世帯には率をさらにアップさせる。

**問** 議案提案のときに子育て世帯は30%増と説明したが、能代市は50%増、低所得者にも

**答** 福祉の事業は、別の方策のなかで検討したい。

**問** 生活に困っている人にあたたかい支援をすべきだ。国が何々に使いたお金。それさえも使わないとは、津谷市政は冷たいと言わざるをえない。

**答** 北秋田市のやり方でやっていく。能代市や大館市に追従するつもりはない。

## 議員：道州制への賛否は

## 市長：判断が難しい

**問** 北秋田市における「地方創生」の取り組みは。

**答** 地域の資源を活かし、独自性のある生き残り策を実行していきたい。

**問** 全国半数の町が削減するとして日本創成会議増田レポートと、「地方創生」、さらに道州制導入が一体として進められていることに注意を払わなければいけない。市長は、道州制導入に賛成か反対

**答** メリットとデメリットがある。賛成でも反対でもなく、判断が難しい。

**問** 行政は、職員の方が良くならないければ、福祉の向上や市が良くならない。いかに能力を高めるかが最も大事なことだと思います。それには研修があります。市長との全職員による対話、いわゆるウィークリー講座を実施しては。

**答** 現在、職員の意見を聞く機会として、部長会議や主幹級職員との意見交換を行っている。今後、私からテーマを決めて、全職員と話しをする機会を検討してまいりたい。

**問** 国では、女性の指導的立場に当たる職員の割合を30%と目標を掲げて活躍を促しておりますが、当市における割合は13・9%である。

**答** 管理職全体に占める割合は13・9%である。

**問** 4年前に、市の行政をより効率的に進展させるため、副市長2人制をとってきた。その成果は、他市と違った行政運営ができたという評価されました。しかしながら、市民の中では、人口や財政規模からして、2人制に批判的な声が多いが、今後について。

**答** 4月以降については1人体制でいくが、地方創生に関連する国の人的支援の動向や、今後の情勢変化の対応を考慮に入れ、制度そのものは存続させたい。

**問** 簡易水道料金については、条例により基本料金プラス水量で水道料金を徴収しているが、各集落にある自治会館の水道料金は、基本料金制ではなく水量にすべきでないか。年に一、二度しか会館を使用しなくても、決まった料金を払わなければならない。水道を止めている所もあるため、ぜひ水量制に。

**答** 各自治会の負担とありますが、引き続き基本料金制でご理解を。



前回の「商品券」（見本）  
※「スーパープレミアム商品券」は、デザイン、金額等異なります。



吉田 仁吉郎 議員（清和会）  
〔総括質問方式〕

## 議員：副市長2人制の今後は

## 市長：当面は1人制でいく

**問** 4年前に、市の行政をより効率的に進展させるため、副市長2人制をとってきた。その成果は、他市と違った行政運営ができたという評価されました。しかしながら、市民の中では、人口や財政規模からして、2人制に批判的な声が多いが、今後について。

**答** 4月以降については1人体制でいくが、地方創生に関連する国の人的支援の動向や、今後の情勢変化の対応を考慮に入れ、制度そのものは存続させたい。



自治会館も基本料金制で

# 職員意識改革と女性登用は

る割合は。また、今後もっと多くの女性職員を意思決定の場へ登用させるべきと思うが。

**答** 管理職全体に占める割合は13・9%である。

# 庁舎の今後のありかた



長崎 克彦 議員 (清和会)

〔一問一答方式〕

約されていることは、利便性の点からも望ましいと認識している。

十分活用すべきと思うがどうか。

〔問〕旧バス会社跡地、中央公民館などについても、庁舎機能として

〔答〕今後の市の方向性などを勘案しながら、庁内検討委員会で検討する。

## 議員：農業の施策をどうする

## 市長：所得向上に予算措置

〔問〕米価の大幅な下落で、当市の基幹産業である農業への支援と、意欲を持つて生産活動に取り組むための施策は何か。

〔答〕特産野菜の生産拡大と品質向上、生産から流通まで行う6次産業化による商品開発の支援により、農家所得の向上につながる取り組みを実施する。飼料用米と主食用米の種子助成について予算措置する。

〔問〕遊休農地の増加も懸念されますが、これについてのは考えは。11・63ヘクタール。農

〔問〕本庁舎、分庁舎のありかたについて考えた時、それぞれの窓口センターをはじめ、住民ニーズにこたえられているか、職員の事務をはじめ効率的な行政効果があらわれているかどうか、この事が重要であると思います。

〔問〕米価の大幅な下落で、当市の基幹産業である農業への支援と、意欲を持つて生産活動に取り組むための施策は何か。

〔問〕市民意識調査の結果を行政にどのように反映していくのか。



旧秋北バス会社跡地の活用を

# ふるさと納税で内陸線支援



大森 光信 議員 (みらい)

〔一問一答方式〕

れ替わったり、時期が変わったりしているが、順調に推移してきたと思っている。後期計画にある鷹巣南小学校と鷹巣中央小学校の統合

については、建設地も具体的に決まっていないうことや耐震補強を行っていることもあり、計画どおりにいかないところもでてきている。

## 議員：中学校を含め再編計画を

## 市長：新たな整備計画策定必要

〔問〕文科省が公表した公立小中学校の適正規模・配置の基準や考え方を示した手引書について、どのように受け止めているか。

〔問〕中学校を含めた再編整備計画を改めて作成する必要があると思うがどうか。

〔問〕観光ビジョンをどのように描いているか。

〔答〕国の示す望ましい学級数を実現するのは、統合しても実現が難しく、現実的には1学年1学級であっても20名程度を確保できれば教育活動の質の維持が可能である。

〔答〕新たな整備計画を策定する必要がある。新たな整備計画は、鷹巣南小と鷹巣中央小の統合、阿仁地区の小学校の統合の検討、さらに中学校の再編整備計画にも十分検討したうえで策定したい。

〔問〕ふるさと納税制度を活用した内陸線運営資金の調達を検討するべきでは。

〔問〕計画に沿って統合が進んでいるが、学校建設、保護者との話し合いによって、一部入

〔問〕内陸線を利用した



統合された合川小学校

# 地方創生の取り組みは



武田 浩人 議員（緑風・公明）

〔一問一答方式〕

団体で構成する審議会の設置や議会との協議が示されていますが、それに加えて市民との意見交換の場を持ちたいと考えております。

## 議員：行政評価制度について

## 市長：対象事業を選択制へ変更

行政評価制度について、委員の公募方法や評価対象事業を委員に選択させるなど、制度の変更を提案いたします。

**問** 地方創生の取り組みで地方版総合戦略を策定する際の当市の重点課題をお示し下さい。

**答** ささまざまな課題が多い中で、地域コミュニティの活性化は当市が直面する重点課題のひとつであり、ご提案の生活・福祉サービスを一定エリアに集める「小さな拠点」形成事業を含め、総合戦略策定において検討することになるものと考えます。

**問** 総合戦略策定において具体的なノウハウや人材の確保についてのお考えを伺います。

**答** 国からは住民代表や産業界・行政機関・大学・金融機関・労働

**問** 行政評価制度について、委員の公募方法や評価対象事業を委員に選択させるなど、制度の変更を提案いたします。

**問** 市民意識調査の結果は、どのよう行政評価に反映されているのでしょうか。

**答** 市民意識調査の結果は、市民の行政施策に対する思いを広く知る機会です。行政評価における事業の有効性等を判断するための指標として活用しています。

**問** 新年度からは、行政評価委員の意見を踏まえ、委員に内部評価を終えた事務事業を提示したうえで評価対象を選択してもらう方法に変更する予定です。

**問** 現在、現在の委員の任期が27年度までとなっておりますので、評価終了後に委員の選定方法の変更点について感想をいただきたいと考えています。

**問** また、実際に評価を行う時期についても、委員を公募する際に公表できるよう配慮した

また、実際に評価を行う時期についても、委員を公募する際に公表できるよう配慮した



平成26年度 行政評価委員会

# 災害対策の強化を



久留嶋 範子 議員（共産党議員団）

〔一問一答方式〕

民参加の防災意識を向上させるための方策について。

**答** 自主防災組織は、平成27年2月末現在で29の自治会で結成され、地域住民の参加による防災訓練等の実施など自発的な活動に取り組んでいただいています。また、平成25年度から

**問** 地域防災計画の改訂で、大きく変わった点と市の災害対策の特徴は。

**答** 被害想定の見直しや、市独自の備蓄計画を追加した。平成27年度には、洪水・土砂災害に関するハザードマップを作成し、全戸に配布する予定です。

**問** 防災無線の故障や老朽化に伴い、災害時の情報伝達に不安の声があります。

**答** 古いため、部品がないケースもある。無線や代替通信も検討中。来年度には、どのような方法がいいのか、計画を策定したいと思っています。

**問** 自主防災組織や住

自主防災組織や住

## 議員：出前講座の実施状況は

## 市長：2月末まで33回実施

**問** 職員による出前講座の実施状況と、国や市の制度が変わったり、事業が変更の際には、積極的に職員が出向いて説明する機会が必要だと思えます。

**答** 出前講座は、今年度2月末までに33回実施しました。このうち、介護保険制度や介護予防に関する講座は14回実施され、延べ356人が参加しております。市民と対話形式で説明することは有効な手法

であり、重要なことであり、出前講座は希望に応じて対応するため、気軽に活用してほしい。



改訂される防災計画書

# 大雪対策の総括は



三浦 倫美 議員（共産党議員団）  
〔一問一答方式〕

政全般への相談・苦情等に対応いたします。  
問 金婚式が行われていない理由と、今後の方針は。  
答 合併後は、敬老式で表彰を行っていましたが、個人情報上の問

題や個人的な記念日であり、市の事業としては不平等であるとの理由から、平成20年度で廃止しており、ご家族でのお祝いが今日的であると考えております。

## 議員：林業振興で雇用創出を 市長：森林経営計画で施業

問 津谷市政2期目後半の方針について。  
答 大型建設事業だけでなく、中学生の医療費無料化など市民生活の充実を図ります。

問 来年度の雪対策は。  
答 民家前にできるだけ雪を残さない、きめ細かな除排雪作業を強化し取り組みます。

問 福祉の雪事業の対象世帯拡充を。  
答 当市の高齢者施策の中でも非常に重要な事業であり、今後も安全・安心な雪対策を進めてまいります。

問 雪対策の相談窓口設置を。  
答 専任の職員配置は難しいが、全職員が市

問 林業振興における行政の役割立ち位置は。  
答 森林計画に即して、市と地元と協働で林業振興を推進します。

問 近隣市町村との連携で木質エネルギー普及を図り林業振興を。  
答 ペレット工場への原料供給にもつながると考え、公共施設へのペレットストーブ導入を計画しています。

問 古文書分析等郷土史研究から、北秋田市の林業の特徴が再発見されています。阿仁鉱山を支えた計画的な山林管理等先人の知恵を次



バイオマスペレット

世代に引き継ぐ、責任ある林業振興を。  
答 秋田藩の木材供給地であった江戸時代から続く豊かな森林を、後世に引き継ぐために森林経営計画を策定し、国県市の各種補助活用で林業振興を図ります。

## 第1回臨時会

### 一般会計補正予算の可決及び 副市長の選任について同意

第1回臨時会が2月12日に本庁舎議事堂で開かれ、提出された議案を審議しました。

臨時会では、会期決定後、平成26年度北秋田市一般会計補正予算（第6号）の議案と、副市長の選任についての同意案の2件が提案となり、審議されました。

#### 除排雪に係る予算は 全会一致で可決

平成26年度北秋田市一般会計補正予算（第6号）については、昨



副市長選任の投票採決  
（第1回臨時会）

#### 虻川副市長の再任に 賛成多数で同意

年12月の降雪量が例年に比べて多かったことなどから、除排雪費の増額による追加補正で、歳入歳出それぞれ9806万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ246億4335万7千円となり、全会一致で可決されました。

また、副市長の選任についての人事案件については、虻川広見副市長の任期が、平成27年2月28日をもって満了となるため提案されたもので、無記名投票による採決が行われ、賛成13票、反対6票の賛成多数により同意されました。同意後、虻川副市長は議長に発言を求め、2期目の抱負を述べました。虻川副市長は、大館市出身の60歳で、民間会社を経て平成23年3月1日から当市の副市長を務めています。

## 賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

| 所属会派・議員氏名<br>採決結果<br><br>議 案 名                          | 採決結果 | 緑風・公明    |         |          |          | みらい      |          |          |          |       | 共産党<br>議員団 |         | 清和会       |          | 新創会   |          |          | 無党派      |          |          |          |
|---------------------------------------------------------|------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|------------|---------|-----------|----------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
|                                                         |      | 関口<br>正則 | 堀部<br>壽 | 武田<br>浩人 | 小笠原<br>寿 | 佐藤<br>光子 | 大森<br>光信 | 黒澤<br>芳彦 | 中嶋<br>洋子 | 庄司憲三郎 | 松橋<br>隆    | 板垣<br>淳 | 久留嶋<br>範子 | 三浦<br>倫美 | 吉田仁吉郎 | 山田<br>博康 | 長崎<br>克彦 | 佐藤<br>重光 | 佐藤<br>文信 | 松尾<br>秀一 | 福岡<br>由巳 |
| 【平成２７年３月定例会／平成２７年３月１９日採決】                               |      |          |         |          |          |          |          |          |          |       |            |         |           |          |       |          |          |          |          |          |          |
| 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 可決   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| 平成27年度北秋田市一般会計予算                                        | 可決   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ●       | ●         | ●        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| 平成27年度北秋田市病院事業会計予算                                      | 可決   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ●       | ●         | ●        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| 平成26年度北秋田市一般会計補正予算（第7号）                                 | 可決   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| 平成26年度北秋田市病院事業会計補正予算（第1号）                               | 可決   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| 米価対策の意見書を求める請願について〔※継審〕                                 | 継審   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ●     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ●        |
| T P P 交渉に関する請願について                                      | 採択   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ●        | ○        | ○        | ○        | －        | ○        |
| T P P 交渉に関する意見書の提出について                                  | 提出   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ○        |
| 農協改革をはじめとした「農業改革」に関する請願について                             | 採択   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ○        |
| 農協改革をはじめとした「農業改革」に関する意見書の提出について                         | 提出   | ○        | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ●        | ○        | ○     | ○          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ○        | ○        | －        | ○        |
| 「集团的自衛権行使を容認した閣議決定に反対し、撤回を求める意見書」の採択等を求める陳情書について        | 不採択  | ●        | ●       | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ●        | ●        | ●        | －        | ○        |
| 介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をめざす陳情について           | 採択   | ●        | ●       | ●        | ●        | ○        | ○        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ●        | ○        | －        | ○        |
| 介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をはかることを求める意見書の提出について | 提出   | ●        | ●       | ●        | ●        | ○        | ○        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ●        | ○        | －        | ○        |
| 集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める陳情書について〔※みなし採決〕                | 不採択  | ●        | ●       | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ●        | ●        | ●        | －        | ○        |
| 沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める陳情書について                          | 不採択  | ●        | ●       | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ●        | ○        | ●        | ●        | －        | ○        |
| 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情について〔※継審陳情〕                  | 不採択  | ○        | ●       | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●        | ●     | ●          | ○       | ○         | ○        | ○     | ○        | ○        | ●        | ●        | －        | ○        |

※全会一致の可決、採択については除いています。

※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。



マスケットキャラクター  
「ないりっくん」

研修会では、秋田内陸縦貫鉄道株式会社の代表取締役社長である佐々木琢郎氏から、県議会の第三セクター等の経営に関する調査特別委員会の調査報告書と、今期決算見込み及び今後の経営方針の説明を受け、厳しい状況を認識しながらも、市議会としてもどのような協力や取り組みができるかなど、今後の活性化に向けた活発な意見交換を交わすことができました。

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の研修会が、3月24日クウインス森吉で開催され、内陸線の現状報告と今期決算見込み及び今後の経営方針について説明を受けました。

秋田内陸縦貫鉄道  
北秋田議員連盟研修会

## 議会報告会

昨年4月1日、「北秋田市議会基本条例」が施行となり今回初めての「議会報告会」を平成27年2月22日(日)に市内4カ所で開催し、合計106人のご参加をいただきました。

市議会の情報が議会、だより等でしかわからない、議員の活動もあまり目に見えない等という市民の意見に対応するため、報告会を議員自ら開催し、市民に開かれた議会に少しでも近づけるとするものです。また、報告や意見交換会を行うことで、今後の議会における政策立案や、政策提言等の充実を図ることを目的としています。

当日のご意見・ご要望については、議会運営などへの貴重なご意見と受け止め、議会運営委員会で議会としての対応を協議し、市長に文書で報告しました。

お忙しい中、ご参加していただきました市民の皆様、ありがとうございます。今後とも、多数の方のご参加をお願いします。

### 鷹巣地区「1班」

庄司憲三郎、松尾秀一、山田博康、佐藤文信、福岡由巳

今回、初めて開催された議会報告会には、40人の参加があり、報告後の意見交換には、次々と手が挙がり、様々な意見が出されて大変意義のある報告会でした。内容としては、少子高齢化対策、男子型企業誘致、農業振興、森吉山周辺観光、伊勢堂岱遺跡の活用、市民病院の医師確保、また阿仁地区のように院外受付場所が綴子地区にもほしい、鷹巣市日の場所に、トイレや



### 森吉地区「3班」

佐藤重光、中嶋洋子、久留嶋範子、松橋隆、関口正則

心配された参加者も、イスを補充するほどの出席(32名)で、市政への関心の高さがうかがえました。そのことは「議会報告」後の活発な意見交換にも表れました。主な意見として、議員報酬の引き上げは市民の生活とあまりにもかけ離れており、議員自ら襟を正して頑張してほしい。要望として、防災無線修繕、防火水槽設置、林道補修等、防災に関する意見が多く出



### 合川地区「2班」

板垣 淳、佐藤光子、吉田仁吉郎、武田浩人、長崎克彦

18人が参加。議会側から議会報告をしたあとの質疑応答では、たくさんの方の発言がありました。とくに議員報酬の引き上げや鷹巣のアーケード建て替え、生涯学習交流施設建設については、市当局と議会に對し辛らつな批判意見が相次ぎました。また、討論が少なく、もつと議論すべきといった議会のあり方への意見や、議会報告会では、議員個々の意見を聞き



### 阿仁地区「4班」

黒澤芳彦、三浦倫美、大森光信、小笠原 寿、堀部 壽

初めての議会報告会の開催であり、参加者の人数が心配されたが、16名の参加を得て積極的な意見・要望を述べていただいた。出された主な意見は、議員に對しては報酬増反対や議員活動を期待する意見、市政に對しては病院の赤字補填やアーケード建設に對する質疑がありました。要望として、自治会館の修理費補助や水道代の減免を望む声がありました。



# 「市民の声」



北秋田市自治会連絡協議会副会長  
阿仁地区会長  
吉川 将祥さん（阿仁銀山）

## 市議会に望みを

北秋田市が合併10年となり、人口減と高齢化がどんどん進み、将来が不安と思っている市民が多く、安心安全を求めている。

議員数も、合併時からみれば大幅な減となり、議員の行動範囲が広く、市民の要望要求に耳を傾ける時間が少なくなり心配です。そのため、少ない時間を有効に使うのも議員の力量とと思っています。

この10年の議会は、市長の親衛隊の感が強く、議会と行政は車の両輪、そして公正公平と言われるが、それぞれの旧町は、

## 皆様の「声」を募集します！

※市議会では、市民の皆様へへの関心と、より身近で親しみをもっていたくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ちしております。

それぞれ歴史・文化・風土・人間性等々が異なり、何もかも公正公平では、物事が進まないのではないか。現在の議員20人は、6会派で構成されており、この会派も、親衛隊の小隊だけであってほならない。市民が求めている多くの小さな要望要求に対し、これらの問題を議会が取り上げ、20人の議員が一つひとつ解決のため、議員の特権の発議、動議を活用し、市民に少しでも活力と希望を与えていただきたい。

これから5年が、北秋田市の行く道が決まり、議会が市民のため行政の先頭に立って、議会の存在を高めることに期待したい。

## 市ホームページがリニューアルされました！ 本会議等の会議録がご覧になれます

北秋田市議会では、各定例会の本会議や臨時会の会議録（平成22年4月以降分）を市のホームページ内で公開しています。

これまで、議会事務局や鷹巣図書館において冊子で公開されておりますが、家庭や職場などから簡単に閲覧することができます。（HPアドレス→<http://www.city.kitaakita.akita.jp/shigikai/index.html>）

### ①〔北秋田市ホームページ〕



クリック

### ②〔市議会のページへ〕



クリック

### ③〔会議録検索閲覧のページへ〕



第1回臨時会と本定例会に人事案  
同意案件が提案され、次のとおり同  
意することに決定しました。

【第1回臨時会】  
◎副市長  
虻川 広見（再任）  
鷹巣字東中岱

◎【本定例会】  
◎教育委員会委員  
永井 高道（新任）  
坊沢字相善岱尻

◎人権擁護委員候補者の推薦  
渡辺 美喜夫（再任）  
浦田字大渕

議会議務局  
平成27年4月1日付議  
会事務局職員は次のと  
りです。

事務局長 田村 義明  
副局長 小坂 竜也  
主幹 渡辺 靖光  
副主幹 柳谷 重光  
副主幹 工藤留理子

人事案件

議会議務局  
平成27年3月31日付 定年退職  
事務局長 土濃塚廣孝

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

| 件名                                                   | 請願・陳情者氏名                                                                                | 結果         | 意見書 |
|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----|
| 米価対策の意見書を求める請願                                       | 農民運動秋田県連合会<br>委員長 鈴木万喜夫                                                                 | 継続<br>審査   |     |
| T P P 交渉に関する請願                                       | 農民運動秋田県連合会<br>委員長 鈴木万喜夫                                                                 | 採択         | 提出  |
| 農協改革をはじめとした「農業<br>改革」に関する請願                          | 農民運動秋田県連合会<br>委員長 鈴木万喜夫                                                                 | 採択         | 提出  |
| 「集団的自衛権行使を容認した閣<br>議決定に反対し、撤回を求める意<br>見書」の採択等を求める陳情書 | 秋田弁護士会<br>会長 加藤 謙                                                                       | 不採択        |     |
| 最低賃金の改善と中小企業支援<br>の拡充を求める陳情                          | 秋田県春闘共闘懇談会<br>代表委員 中村秀也<br>秋田県労働組合総連合<br>議長 星野博之                                        | 採択         | 提出  |
| 労働時間法制の規制強化と安定<br>雇用の確立を求める陳情                        | 秋田県春闘共闘懇談会<br>代表委員 中村秀也<br>秋田県労働組合総連合<br>議長 星野博之                                        | 採択         | 提出  |
| 介護報酬の引き下げに反対し、<br>介護事業所の経営安定と介護労<br>働者の処遇改善をめざす陳情    | 秋田県春闘共闘懇談会<br>代表委員 中村秀也<br>秋田県労働組合総連合<br>議長 星野博之<br>全国福祉保育労働組合<br>秋田地方本部<br>執行委員長 佐々木和美 | 採択         | 提出  |
| 集団的自衛権の行使を容認する<br>閣議決定の撤回を求める陳情書                     | 秋田・戦争をさせない<br>1000人委員会<br>代表 山縣 稔                                                       | みなし<br>不採択 |     |
| 沖縄県名護市辺野古新基地建設<br>工事の中止を求める陳情書                       | 秋田・戦争をさせない<br>1000人委員会<br>代表 山縣 稔                                                       | 不採択        |     |
| 阿仁診療所の建て替えについて<br>の陳情                                | 下新町商店街振興会<br>会長 北林昭男                                                                    | 採択         |     |

おとがき

今冬も、昨年の12月からの降雪で大雪となり、  
除排雪作業で多くの市民が作業に追われ難儀し  
た冬でした。

平成27年度の当初予算は、一般会計222億  
2千328万9千円で、前年度比約15億円  
（6・3％）の減額予算です。大型事業が相次  
いだ前年度を下回ったとはいえ、昨年から継  
続事業等があり比較的大きな予算です。また、  
人口減少に対応するため、子育て支援や移住・  
定住促進対策予算も含まれております。

議会改革の一環として、「議会報告会」を実施  
しました。106名の市民が参加され、それぞ  
れの会場で、要望も含め意見交換ができました。  
まもなく田植え作業が始まります。当市の基  
幹産業である農業を守り発展させるため、農業  
者・行政・農業団体など、今年こそその意気込み  
で頑張りましょう。

私たち広報公聴特別委員も、多くの市民に親  
しきをもって読んでいただくため、決意を新た  
に今年度も鋭意努力してまいりますので宜しく  
お願い申し上げます。

（長崎 克彦）

次の定例会と  
各常任委員会は

6月です

市民の皆さまの傍聴  
をお待ちしています

た報公聴特別委員会

委員長 福岡 由巳  
副委員長 久留嶋 範子  
委員 長崎 克彦  
吉田仁吉郎  
武田 浩人  
三浦 倫美